



II 都道府県レベルでのがん診療の質の向上を目指したPDCAサイクル確保の取り組みについて

2. 都道府県レベルでのがん診療の質の向上を目指したPDCAサイクルの確保について

No	施設	都道府県レベルでのがん診療の質の向上を目指したPDCAサイクル確保に関する現時点の取り組み状況													
		都道府県内のPDCAサイクルの確保に関する責任者		都道府県内のPDCAサイクルの確保に関する実務担当者		PDCAサイクル確保の方法を定めた上で、都道府県内の取り組み		都道府県内のPDCAサイクルの確保の手段							
		決めている	決めている	決めている	決めている	開始していない	開始している	現況報告書を用いたがん診療連携拠点病院の診療機能等の情報共有	院内がん登録のデータを用いたがん診療に関する情報共有	がん診療評価指標QIの研究(国立がん研究センター東向弘)へ参加	がん診療連携拠点病院における診療体制に関する調査(東京大学大学院水島聡子)へ参加	都道府県内で定めたフォーマットを用いた各病院が取り組むがん診療の質の改善を目指した活動についての情報共有	特定のメンバーが訪問する形での病院の実地調査	病院間のメンバーが相互に訪問する形での病院の実地調査	その他
1	北海道がんセンター														
2	青森県立中央病院														
3	岩手医科大学附属病院	○		○			○								各部会で情報共有し年度ごとの改善目標を設定している。
4	宮城県立がんセンター		○		○		○		○			○		○	
5	東北大学病院		○		○		○		○			○		○	
6	秋田大学医学部附属病院		○		○		○		○			○		○	
7	山形県立中央病院		○		○		○		○						
8	福島県立医科大学附属病院	○		○			○		○			○			
9	茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター		○		○		○								各領域の専門部会で実施している。
10	栃木県立がんセンター		○		○		○		○			○		○	
11	群馬大学医学部附属病院		○		○		○		○			○		○	
12	埼玉県立がんセンター		○		○		○		○			○			
13	千葉県がんセンター		○		○		○					○			施設単位では解決が難しいが県単位での取り組みが必要な課題について、5つの専門部会がそれぞれの担当領域について改善活動を行い、PDCAサイクル専門部会で情報共有している
14	東京都立駒込病院		○		○		○		○			○		○	
15	がん研究会有明病院		○		○		○		○			○		○	
16	神奈川県立がんセンター	○		○		○		○		○		○			
17	新潟県立がんセンター新潟病院	○		○		○		○		○		○			
18	富山県立中央病院		○		○		○		○						
19	金沢大学附属病院	○		○		○		○		○				○	
20	福井県立病院		○		○		○		○			○			
21	山梨県立中央病院	○		○		○		○		○					
22	信州大学医学部附属病院		○		○		○						○		
23	岐阜大学医学部附属病院	○		○		○		○		○		○			○
24	静岡県立静岡がんセンター		○		○		○		○				○		○
25	愛知県がんセンター中央病院	○		○		○		○		○		○			
26	三重大学医学部附属病院														
27	滋賀県立総合病院	○		○		○		○		○		○			
28	京都府立医科大学附属病院	○		○		○		○		○		○			各拠点病院等のPDCAの取組みを毎年2病院ずつ紹介。各部会から活動状況報告と課題共有
29	京都大学医学部附属病院	○		○		○		○		○		○			各拠点病院等のPDCAの取組みを毎年2病院ずつ紹介。各部会から活動状況報告と課題共有
30	大阪国際がんセンター		○		○		○		○			○		○	
31	兵庫県立がんセンター	○		○		○		○		○		○			
32	奈良県立医科大学附属病院		○		○		○		○			○		○	
33	和歌山県立医科大学附属病院	○		○		○		○		○					
34	鳥取大学医学部附属病院		○		○		○		○			○			
35	島根大学医学部附属病院		○		○		○		○			○			
36	岡山大学病院		○		○		○		○						
37	広島大学病院		○		○		○		○			○		○	
38	山口大学医学部附属病院		○		○		○		○			○		○	各種がん治療成績の評価(5年生存率など)
39	徳島大学病院		○		○		○		○			○			
40	香川大学医学部附属病院	○		○		○		○		○					
41	四国がんセンター	○		○		○		○		○		○		○	
42	高知大学医学部附属病院		○		○		○		○						県内の医療機関がん診療体制調査を活用し、緩和ケアチーム及び緩和ケア体制等を調査
43	九州がんセンター	○		○		○		○		○					
44	九州大学病院	○		○		○		○		○		○			
45	佐賀大学医学部附属病院	○		○		○		○		○					
46	長崎大学病院	○		○		○		○		○		○		○	
47	熊本大学医学部附属病院	○		○		○		○		○		○		○	
48	大分大学医学部附属病院	○		○		○		○		○					
49	宮崎大学医学部附属病院	○		○		○		○		○				○	
50	鹿児島大学病院	○		○		○		○		○		○		○	
51	琉球大学医学部附属病院	○		○		○		○		○					拠点病院については胃がんと大腸がんのQIの測定(診療録を詳細にチェックする方式:いわゆるてまひまQI)を行っている



都道府県レベルでのがん診療の質の向上を目指したPDCAサイクル確保に関する現時点の取り組み状況															
No	施設	PDCAサイクル部会等での都道府県内のがん診療の現状を踏まえた問題や課題について		都道府県内のがん診療の課題や問題に基づく都道府県内で達成すべき共通の目標		(共通の目標を設定している場合)		「都道府県がん対策推進計画」に基づく、都道府県内での共通の目標		都道府県内共通の目標達成に向けた各がん診療連携拠点病院の行動計画		都道府県内共通の目標達成に向けた各がん診療連携拠点病院の行動計画の進捗状況について、都道府県内のPDCAサイクル部会・委員会等での確認		都道府県内で設定した目標達成状況について、PDCAサイクル部会・委員会等での評価	
		整理していない	整理している	設定していない	設定している	共通の目標	共通の指標	設定していない	設定している	立案していない	立案している	行っていない	行っている	行っていない	行っている
27	滋賀県立総合病院	○			○	がん診療に携わる全ての医療従事者が基本的な緩和ケアを理解し、知識と技術を習得する。	がん医療に携わる医師の緩和ケア研修会受講率		○	○		○		○	
28	京都府立医科大学附属病院		○	○				○		○		○		○	
29	京都大学医学部附属病院		○	○				○		○		○		○	
30	大阪国際がんセンター	○		○				○							
31	兵庫県立がんセンター	○			○				○	○		○		○	
32	奈良県立医科大学附属病院		○		○	基本理念「がんにならない、がんになっても安心できる 奈良県」 1.がんにならない、がんで若い人が亡くならない 2.すべてのがん患者とその家族の苦痛が軽減され、安心、納得のいく療養生活を送ることができる 3.すべての県民ががんを知り、がんと向き合い、希望を持って暮らせる地域共生社会をつくる	めざすところ「がんで亡くならない県、日本一」 がん75歳未満年齢調整死亡率 27%減少		○	○		○		○	
33	和歌山県立医科大学附属病院	○			○	緩和ケア医療について県民に理解を深めてもらうため、県内共通の案内チラシを作成する			○	○		○		○	
34	鳥取大学医学部附属病院		○		○	鳥取県内におけるがん医療の均てん化	PDCAサイクルシートの利用		○	○		○		○	
35	島根大学医学部附属病院		○	○					○		○		○		○
36	岡山大学病院	○		○					○	○		○		○	
37	広島大学病院		○	○				○		○		○		○	
38	山口大学医学部附属病院		○		○	各種がんにおける、生存率の公表。患者満足度調査の実施。			○		○		○		○
39	徳島大学病院		○		○				○		○		○		○
40	香川大学医学部附属病院	○		○				○		○		○		○	
41	四国がんセンター	○		○			水流班の臨床評価指標を年に1度評価している。	○			○		○		○
42	高知大学医学部附属病院	○		○				○		○		○		○	
43	九州がんセンター	○		○				○		○		○		○	
44	九州大学病院	○		○				○		○		○		○	
45	佐賀大学医学部附属病院	○		○				○		○		○		○	
46	長崎大学病院		○		○				○		○		○		○
47	熊本大学医学部附属病院		○	○				○		○		○		○	
48	大分大学医学部附属病院	○			○	がん相談支援センターの広報周知、相談員の質向上			○	○		○		○	
49	宮崎大学医学部附属病院		○	○				○		○		○		○	
50	鹿児島大学病院		○		○				○	○		○		○	
51	琉球大学医学部附属病院	○			○	沖縄県におけるがんの75歳未満年齢調整死亡率(人口10万対)の減少	平成34(2022)年に男女計65.0、男性80.0、女性50.0		○	○		○		○	

II 都道府県レベルでのがん診療の質の向上を目指したPDCAサイクル確保の取り組みについて

3. 都道府県レベルでのPDCAサイクルの確保に関する取り組みについて

No	施設	都道府県レベルでのPDCAサイクルの確保に関する取り組みに関して、「工夫していること」または「問題点」等について	国立がん研究センターが行っている、各都道府県が都道府県レベルでのPDCAサイクルを確保していくことを支援するための取り組み（PDCAサイクルフォーラムの開催や、ホームページによる各都道府県の取り組みの紹介など）に関するご意見等
1	北海道がんセンター		
2	青森県立中央病院		
3	岩手医科大学附属病院		
4	宮城県立がんセンター	宮城県がん診療連携協議会の下部委員会として、①化学療法部会②放射線治療部会③緩和ケア部会④がん相談部会⑤がん登録部会⑥地域連携部会⑦口腔ケア部会⑧看護部会を設置し、各拠点病院から委員が集まって、年度目標を立て、年2回程度の相互評価を行っている。また複数の部会では、施設の相互訪問、現地調査を行っている。また、がん診療体制検討委員会では8部会の部会長と、各拠点病院の委員から構成され、それぞれの拠点病院のPDCAサイクル活動の総括的評価を行っている。	
5	東北大学病院	宮城県がん診療連携協議会の下部委員会として、①化学療法部会②放射線治療部会③緩和ケア部会④がん相談部会⑤がん登録部会⑥地域連携部会⑦口腔ケア部会⑧看護部会を設置し、各拠点病院から委員が集まって、年度目標を立て、年2回程度の相互評価を行っている。また複数の部会では、施設の相互訪問、現地調査を行っている。また、がん診療体制検討委員会では9部会の部会長と、各拠点病院の委員から構成され、それぞれの拠点病院のPDCAサイクル活動の総括的評価を行っている。	
6	秋田大学医学部附属病院		
7	山形県立中央病院		
8	福島県立医科大学附属病院	現在、がん診療連携協議会のPDCAサイクルについては、各部会ほとんどに実施しているところがあるが、例えば、化学療法、看護師、薬剤師等については、スタッフの確保が厳しいため部会等の組織がなくなっている。また、県全体のPDCAサイクルの取りまとめを既存部会で実施するよう準備をしている段階であり、協議会全体としての検討はこれからの状況である。	
9	茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター		
10	栃木県立がんセンター	[問題点] ・がん診療連携拠点病院における診療体制に関する調査(東京大学大学院水産学)に参加しているが、県内参加施設への情報提供において負担がある。 ・実地調査については、評価指標や基準が不明確である。	・先駆的な取り組みは、大変参考になっている。
11	群馬大学医学部附属病院	がん診療連携拠点病院における診療体制に関する調査(東京大学大学院水産学)に参加し、大腸がんはすべての病院に回答するよう求め、その結果を群馬県がん診療連携協議会へ報告している。一昨年と比較して結果に改善が見られている病院に、どのような取り組みを行ったかをがん診療質の評価部会で発表していただいた。また診療体制に関する調査及びその結果が各病院でどの様に報告・検討されているかアンケート調査を行った。	
12	埼玉県立がんセンター	県レベルでPDCAサイクルを回すために独立した部会が立ち上がりました。これまで目標をトップダウン方式で決めてきましたが、地域連携に関するもので、癌患者在宅支援、癌患者の口腔ケア/医科歯科連携です。トップダウン方式を継続するのは難しく、メンバーからの意見を採用するボトムアップ方式でテーマを決めることも必要と思っています。また、埼玉県は他に6つの部会があり、各部会でPDCAサイクルを回しております。我々の部会も独立した形であり、各部会を横差しする様な共通のテーマ設定はできておりません。しかし、緩和や情報連携部会と重なる部分が多く、それらの部会との連携を深める必要があると思っております。	いつも大変お世話になり、また、支援いただいております。有り難うございます。
13	千葉県がんセンター	1) 都道府県レベルでのPDCAサイクルを「県単位」と「施設単位(共通目標)」の2つに大別している。 ①「県単位PDCAサイクル」は、施設単位での解決が難しいが県単位での取り組みが必要な課題について県協議会として改善活動を行うものである。例えば、がん相談支援センターのがん患者による第三者評価、がん種別の診療提供体制の整備、県共用地域連携クリティカルパスの改定、合同研修会の実施などに取り組んでいる。 ②「施設単位(共通目標)PDCAサイクル」は、県協議会で全ての施設が同じ共通目標を設定し、その達成に向け各施設がそれぞれPDCAサイクルを実施するものである。例えば、緩和ケア研修受講率向上においては共通の数値目標を設定して取り組んでいる。 2) 千葉県がん対策推進計画の策定において、千葉県がん診療連携協議会ががん医療に係る計画案の作成を担当した。県協議会は自ら策定した計画を実施する形となり、各病院が主体的に関わる動機付けになることが期待される。今後、県計画を県協議会におけるPDCAサイクルに落とし込み、都道府県レベルでのPDCAサイクルの確保を行う予定である。	他の都道府県の情報は非常に参考になる。是非、続けてほしい。
14	東京都立駒込病院		
15	がん研究会有明病院		
16	神奈川県立がんセンター	・県全体で行うためには、事務機能の充実が必須。現状では各部会の事務量が限界。 ・各部会のPDCAがすすむやすい。 ・指定要件のチェックをしても各病院で弱点は異なるため、県全体での取り組みはむずかしい。 ・相談支援部会、緩和ケア部会では積極的に取り組んでいる。 ・がんパス部会ではバリエーション解析等パスの運用そのものがPDCAサイクルとなるので各病院の取り組みに任せ、実務者WGで情報を共有している。	年間スケジュールを公表していただきたい(前年度末には次年度の予定を把握したい)

No	施設	都道府県レベルでのPDCAサイクルの確保に関する取り組みに関して、「工夫していること」または「問題点」等について	国立がん研究センターが行っている、各都道府県が都道府県レベルでのPDCAサイクルを確保していくことを支援するための取り組み(PDCAサイクルフォーラムの開催や、ホームページによる各都道府県の取り組みの紹介など)に関するご意見等
17	新潟県立がんセンター新潟病院	事務局機能の充実が必要と思われるが、がん拠点活動における行政の関与が薄い。	
18	富山県立中央病院		
19	金沢大学附属病院	昨年度より、石川県のがん拠点病院及び県が指定する、それに準じた病院で、施設間訪問を実施し、相互チェックを行うこととしている。	昨年度のPDCAサイクルフォーラムの長崎県の取り組みは参考になりました。
20	福井県立病院		
21	山梨県立中央病院		
22	信州大学医学部附属病院	今年度より各部会の共通目標をたて、部会ごとに自己評価するようにした。	
23	岐阜大学医学部附属病院	都道府県レベルでのPDCAサイクルの達成すべき統一した共通目標・基準を設定することは、地域性や施設によって担っている役割・機能・体制等が異なるため、現状では困難である。そのため、がん対策推進基本計画に基づき、各部会で達成すべき指標を定め、自己評価を行い、それにより抽出された課題に対して取り組むことでPDCAサイクルを確保している。また、各部会から協議会へ情報共有することで、県内のがん診療の質の均てん化を図っている。	
24	静岡県立静岡がんセンター	がん診療連携拠点病院の要件変更に伴い、2014年度に県庁職員と協力して県内全ての拠点病院、県指定がん診療連携推進病院および地域がん診療病院指定希望病院を訪問し、現況報告書をもとに病院長からの聞き取りを行い、要件の充足状況、診療機能、診療実績にかかる情報収集に加え、取組状況を確認し、助言・指導を行った。病院長が、がん診療体制の質評価調査を活用したPDCA報告会に出席し、今後の調査・研究への参加を検討している。	特になし
25	愛知県がんセンター中央病院	現状では、相互評価しやすい「がん薬物療法部門」の取組を優先的に行っており、将来的には、がん診療の向上に関わる取組を行っていくこととしている。また、県内のがん拠点病院の医師、看護師、薬剤師の分科会をつくり、施設横断的な情報共有を行いやすくするとともに、各職種の視点から県全体のがん診療の質の向上につながるような取り組みの検討を行っている。	PDCAサイクルはもともと一般の企業や工場に安全に仕事が行われるために作られたシステムです。旧労働省はその普及のためにマニュアル本の作成を行いました。例えば中央労働海外防止協会が「実践 労働安全衛生マネジメントシステム」というマニュアル本を作成、PDCAサイクルを広めました。非常にわかりやすいマニュアルでこれを読めばPDCAサイクルがすぐに開始できる内容です。愛知県のがん診療連携拠点病院協議会PDCAサイクル推進部会が行っているPDCAサイクルの「県内共通の定められたフォーマット」はこの中央労働海外防止協会の「実践 労働安全衛生マネジメントシステム」を基にして共通の基盤としています。国立がん研究センターが中心となり「全国共通の基盤」の作成、また各県の取り組みで教科書的な例を用いた「具体例」をまとめて、「PDCAサイクルマニュアル」を作成し、国立がん研究センターのホームページで公開するか製本すれば、PDCAサイクルがさらに普及し安全な医療が推進されると考えます。共通の基盤に基づいた各県のPDCAサイクルの取り組みだと、ホームページで公開した時に医療者のみならず一般市民の方の理解も得られやすいと考えます。
26	三重大学医学部附属病院		
27	滋賀県立総合病院		
28	京都府立医科大学附属病院		
29	京都大学医学部附属病院		
30	大阪国際がんセンター	がん診療連携協議会のメンバーで、府内がん拠点病院の現地実地調査を行っている相談支援センター部会では、がん相談支援センタープロセス評価を行っている緩和ケア部会と相談支援センター部会との合同大阪府がん拠点病院PDCAサイクルフォーラムの開催など部会レベルでの情報共有を行う	
31	兵庫県立がんセンター	兵庫県がん診療連携協議会において、県内各病院におけるPDCAサイクルについて情報を共有している。又協議会各部会においては目標を設定してPDCAサイクルの確保に努めているが、PDCAサイクルの確保に関する部会・委員会等は設置していないため、兵庫県がん対策推進計画に基づく共通目標を設定するなどの全体を管理するような体制は出来ていない。	
32	奈良県立医科大学附属病院	・県の拠点病院である奈良県立医科大学附属病院が中心となり、「PDCAサイクル評価シート」を作成し、がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院および支援病院に実施していただいています。また、「奈良県がん診療連携拠点病院PDCAサイクル評価委員会」として各拠点病院、地域がん診療病院および支援病院から担当の医師を選出し、訪問調査を行っております。この訪問調査には、看護師やMSWも参加しており、情報共有の場としても有効に活用されています。・行政(県庁)も非常に協力的で、拠点病院のがん診療連携協議会の取組にも積極的に参加し、さらに県のがん対策推進協議会や、その下の部会でもPDCAサイクルを取り入れて実施しております。また、行政(県庁)は、指定要件の充足状況を確認するため、拠点病院に対する実地調査を実施し、その結果や好事例について、がん診療連携協議会等でフィードバックしています。	
33	和歌山県立医科大学附属病院	県内の緩和ケアチームを対象に「緩和ケアPDCAフォーラム」を開催し、県内の共通課題と各施設ごとの個別目標を策定している。これまで目標の立案までで終わってしまっていたため、H30年度からは進捗を確認するため、年度末までに再度フォーラムを開催して目標達成のためのフィードバックを行う計画である。	
34	鳥取大学医学部附属病院	各拠点病院が連携して、部会毎にPDCAサイクルを提言し、定期的に会議、インターネットカンファレンスなどで協議している	
35	島根大学医学部附属病院		

No	施設	都道府県レベルでのPDCAサイクルの確保に関する取り組みに関して、「工夫していること」または「問題点」等について	国立がん研究センターが行っている、各都道府県が都道府県レベルでのPDCAサイクルを確保していくことを支援するための取り組み(PDCAサイクルフォーラムの開催や、ホームページによる各都道府県の取り組みの紹介など)に関するご意見等
36	岡山大学病院	特になし。	特になし。
37	広島大学病院	がん拠点業務を包括する様なPDCAサイクルの確立を求めるのではなく、毎年項目を絞って、項目毎に各病院間で訪問したり、アンケートを行い、その結果を都道府県拠点病院がまとめる形をとっている。 現時点では「まとめ」を年2回の連絡協議会で報告することにとどまっている。今後、この3年を目処に同一項目の再アンケート、再訪問を実施し、数年間での変化、改善状況を評価しようと計画している。	毎年フォーラムに参加したり、配布物を拝見し、参考にしています。引き続き、宜しく願い申し上げます。
38	山口大学医学部附属病院		
39	徳島大学病院	がん相談支援センターのPDCAサイクル確保の取組においては、「がん相談支援センターPDCA実施状況チェックリスト:がん相談支援センタープロセス指標」を徳島県版として一部改変し、調査をおこなっている。	
40	香川大学医学部附属病院		
41	四国がんセンター	連携協議会の中でPDCA活動を行う委員会は作っていませんが、今後各施設で担当を決め、専門部会を横断的に検討する形にすることで意見は調整しています。本格的活動はPDCA委員会が設立してからになります。	各県の情報・立ち位置がわかるので貴重です。県内施設の共通理解に利用させていただきます。
42	高知大学医学部附属病院	県内の緩和ケア体制調査を目的に、県が実施している医療機関がん診療体制調査を利用した。	
43	九州がんセンター	問題点 PDCAサイクルを確保していく部会を立ち上げた場合、メンバーが他の部会のメンバーと重複することが懸念され、業務量が過多となりうること	医療機関間での定期的な実地調査などの方策について、具体的に秋田県、東京都、長崎県の取り組みについて、紹介され、地域毎の多様性が見える化され、今後福岡県に於いて「評価・改善部会」のような今後もPDCAサイクルを確保していく専門部会を立ち上げていくうえで、とても参考となった。いろんな角度、切り口から取り組まれることを期待しています。ありがとうございました。
44	九州大学病院		
45	佐賀大学医学部附属病院		
46	長崎大学病院		・実務者でのテレビ会議によるPDCAサイクル供給、議論を行う予定(緩和) ・相談支援部会より示されたPDCAサイクルの全国共通指標を基に作成しているが、不明な点があり、指標にあわせたPDCAについては一部県の状況に合わせた指標であったり、県内の拠点・推進病院で目標設定しやすいPDCAサイクルから始めていき、全国指標に合わせた形を設定できるように定期的にTV会議などを利用し、見直しを行っている。(相談支援)
47	熊本大学医学部附属病院		
48	大分大学医学部附属病院	・県と各拠点病院が協力してがんサポートブックを作成しているが、サポートブック印刷の予算は県で確保されていない。毎年印刷、配布のための予算計上をお願いしているが、他の予算の余剰金が出た場合に対応するという方針が変わらない。	
49	宮崎大学医学部附属病院		
50	鹿児島大学病院		
51	琉球大学医学部附属病院	「第3次沖縄県がん対策推進計画」の進捗状況について、逐次把握ができるように、今年度から沖縄県がん診療連携協議会ベンチマーク部会が新たに発足したが、未だ活動は開始していない。	現在の国立がん研究センターの状況では大変難しいとは思いますが、厚生労働省からがん対策情報センターへの予算の倍増、ないしは国立がんセンター内でのがん対策情報センターへの予算配分の見直しによるがん対策情報センターの実質的な予算倍増が得られた場合には、以下のことをお願いしたいです。 1. PDCAサイクルを確保するためのデータの収集への支援 (1) 各臓器別および目的別(拠点病院の医療の質の評価、相談支援の質の評価、など)データセットを取り決める (2) データセットに入っている個々の情報の収集の方法を公開し、技術的支援を行う (3) データセットを完備するための研修会を定期開催する 2. PDCAサイクルを確保するためのデータの分析と公開への支援 (1) 地域および院内がん登録とデータセットの分析方法及び公開方法についての標準的な方法を公開し、技術的支援を行う (2) 地域および院内がん登録とデータセットの分析方法及び公開方法についての研修会を定期開催する (3) 各都道府県の地域および院内がん登録とデータセットの分析を定期的に行い、都道府県に対して、必要な注意情報を出す 3. PDCAサイクルを確保するためのデータの活用への支援 (1) 都道府県および市町村担当職員、拠点病院担当職員(含む医療者等の専門家)とデータ分析者についての定期会議について、事例集を作成・紹介し、個別相談や技術的支援を行う (2) 都道府県および市町村担当職員、拠点病院担当職員(含む医療者等の専門家)とデータ分析者および患者・住民に対して、データセットの解釈方法と計画の進捗管理への活かし方について、共に学び合う会を定期開催する (3) 国民(患者関係者を含む)に対して、データセットの解釈方法と医療機関選択への活かし方について、共に意見交換し、学び合う会を定期開催する